

会長就任のご挨拶

一般社団法人 日本温泉科学会 会長 前田眞治



2019年6月より一般社団法人 日本温泉科学会の第52代会長に就任いたしました。本学会は1939(昭和14)年に創立され80年の歴史をもつ学会で、2017年に一般社団法人になっています。

温泉は自然に湧出されるものであり、その研究は化学・薬学・医学・物理学・地質学・生物学など多岐にわたっています。多くの先人が様々な分野から温泉というものを研究し、その情報を学会のみならず社会に発信し本学会の発展に寄与しています。

最近の主なる研究対象としては、自然現象としての温泉と温泉に関わりのある火山や地震、温泉に関連する生物学・物理学・化学、温泉と人間・社会とつながりのある観光・水産・農業・医療・熱エネルギー利用など、科学系の多彩さをもつのが本学会の特徴といえます。これらの研究を会員は様々な観点から討議し、さらに多くの人に参加し理解できるような学会を目指していきたいと考えています。

本学会の活動は、毎年各地で開催される学術大会、学会誌「温泉科学」の刊行、学会編集の書籍の出版などであり、これらを介して学会員をはじめ社会への学問の発展・啓蒙・促進を図り貢献しています。

日本人の生活に密接に関連する温泉を研究することは、我々の生活をさらに豊かにすることにつながると確信しています。

このように温泉に関する種々の科学的研究調査を通して、温泉科学に関する学問や技術の進歩を推進することが我々の責務です。我々会員は常に学問の原点に立ち返りながら、温泉科学を研究することで「何のために、何をするのか」「今後どのように進めていくべきなのか」そのために「今、行わなければならない活動は何か」を考えなければなりません。

温泉科学をめぐる学問は技術や学問の進歩、社会情勢の変化により大きく変動しています。最先端の温泉科学を推進することとともに、社会貢献も含めたものも要求される時代になってきています。法人格を得た今、学術的基盤を充実させ、より一層の研究強化・推進を促進し、本邦をはじめ世界の温泉科学の中心的存在として、更なる学問・社会的情報を発信していく学会にしていきたいと思えます。

歴代会長が推進されてこられた「温泉の科学的解明とその利用の促進」にむけ、多くの改革や取り組みに取り組み、新しい視点で展開・発展させていくとともに、会員からの意見や要望を可能な限り実現し、社会的貢献の果たせる学会活動を推進していきたいと考えています。今後とも会員の皆様とともに学会をより良い方向に進めていきたいと思えますので、ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。